

資料 1

※産業振興会議では、議論の方向性（政策展開イメージ）に関してご承認いただきました。

工業 ものづくり	人と人 企業と企業がつながり 新たな展開に挑戦するものづくりへ 先端技術を活用した生産性の向上や新製品・新技術の開発に加え、企業価値の透明化や大学をはじめとする研究機関の研究・共同の促進など、企業の成長加速化に向けた取組みを推進することにより、北九州企業のみならず発展を促します。また、北九州企業をけん引するリーディング企業の育成や、経営基盤の強化を図るための企業継承・人材不足の対応、企業価値が浮き離れた製造と技術を国内内外へ向けて効果的に発信し、ブランド力の強化を図ることで、人や企業がつながり新たな展開に挑戦するものづくりの実現を目指します。 方針① ものづくりイノベーションの推進 ・AI、ロボット、IoTなどの先端技術の活用や設備の拡大・開発など、新たな事業展開に向けた企業の能力向上を推進することで、ものづくり企業競争力の強化を図ります。 ・国内企業と大学をはじめとする研究機関との連携、技術連携や企業間での交流・連携を促進することで、製品の開発効率化や技術の発展を促進します。 【取り組み】 1. AI、ロボット、IoTなどの先端技術の活用と製品の開発効率化の促進 2. 産学連携・企業間連携の促進 3. 新技術連携ネットワークの構築 方針② ものづくり人材・企業の育成 ・企業間の連携の促進やマッチングなどでの取組みを促進し、企業価値をけん引し、新事業の取組みを行うリーディング企業の育成を図ります。 ・国内企業・経営者に対する企業継承・人材育成の支援、国内企業価値向上を目指す企業間交流や新製品の開発を促します。 ・企業継承の促進、事業継承者となる人材の確保や育成に関する支援などに取り組むことで、企業間の連携強化、交流を促進します。 【取り組み】 1. 経営者を中心としたリーディング企業の育成 2. 産学連携・企業間連携の促進 3. 人材確保・活用支援 方針③ ものづくりのPR・ブランド力の強化 ・国内企業のみならず海外企業による「モノづくり」の価値を国内外の企業・産業ブランドの価値を高め、北九州のみならずの能力を国内外に向けて効果的に発信します。 ・国内企業のブランド力の強化や製造と技術に関する国内の能力強化に向けた取組みを促進することで、企業価値向上の効果を高めることに取り組めます。 【取り組み】 1. 「製造のものづくり」のブランド力の強化 2. 製造と技術の両面、ものづくり企業の能力発信
------------------------	--

※参考 2018年産業活性化ビジョン検討委員会（概要版 抜粋）

北区産業活性化ビジョン検討委員会スケジュール（予定）

【検討方法】

- 「基礎調査報告書」をもとに、産業振興会議で承認されました議論の方向性（政策展開イメージ）を、SWOT分析を用いて例示させていただきました（資料4・8～9頁）。
- 例示をもとに、委員の皆さまから、想定される政策展開（「製造業」「非製造業」「商店街」「区民」の分野ごとに取り組むべき重点実施事項）に関する意見を頂戴して参ります。
- 委員会での意見・議事を整理して「想定される政策展開」をまとめ、次回の委員会で提示致します。
※4月・6月の検討委員会は、各部会で同じ内容の検討を行います。
- 各部会でまとめられた「想定される政策展開」は、合同部会で統合します。
統合された「想定される政策展開」に基づき、合同部会で、理念、目指す姿、行動指針等のコンセプトを議論し、委員会での意見・議事をおまとめして提示致します。

※以降のスケジュールで、詳細をご確認ください。

北区産業活性化ビジョン検討委員会スケジュール（予定）

第1回	2月3日(月) 全体会	・ 基礎調査の進捗報告 ・ 北区産業の現状に関する意見交換
第2回	4月14日(月) 第2部会(B)	・ 基礎調査結果の報告 ・ 産業振興会議における意見
第3回	4月18日(金) 第1部会(A)	・ 製造業・非製造業の「強み」「弱み」の検討 ・ 「想定される政策展開」の検討
第4回	6月 部会	・ 前回の振り返り（集約・整理した意見等の提示） ・ 商店街・区民の「強み」「弱み」の検討 ・ 「想定される政策展開」の検討
第5回	6月 部会	
第6回	7～8月 合同部会	・ 前回の振り返り（集約・整理した意見等の提示） 分野別の「想定される政策展開」の統合 ・ 産業振興の理念・目指す姿の検討 ・ 実施体制・連携体制・KPI設定に関する検討
第7回	8～9月 全体会	・ 前回の振り返り（集約・整理した意見等の提示） ・ ビジョン素案の確認・検討

※開催時期や検討内容は予定であり、今後の進捗状況等に応じて変更の可能性があります。